

体験活動参加型＋在宅取り組み型（中学校）

学校名	神戸町立神戸中学校
実施日時	夏休み・9月17日(体育大会), 10月～12月の任意の休日部活, 10月31日～11月6日
会場	各家庭, 神戸中学校, 各地のスポーツ施設 等
参加人数	568名(お弁当づくり), 276名(ふれあい部活動), 550名(Thank you Week)
	※いずれも保護者
学習課題(分野)	「親子で作ろう お弁当の日」・「親子ふれあい部活動」・「Thank you Week」 (食育・子ども理解)
運営者の願い	家庭教育学級において, 夏休みと体育大会当日に「親子で作ろうお弁当の日」と2学期後半は, 「親子ふれあい部活動」「Thank you Week」を企画した。親子で会話をしながら弁当を作ったり, 対戦型や実習参加型などの部活動に取り組んだり, 親子で感謝する姿を交流し合ったりして, 日頃できない親子のコミュニケーションを深める機会にできたらと願い企画した。

学 習 の 内 容

1. 「親子で作ろう お弁当の日」

<取組の経緯>

中学校までは給食があるため, なかなか家庭で弁当を作る機会は少ないが, 高校生になると, 毎日親は栄養のバランスや量, 彩りなど, さまざまな要素を考えながら子どもに弁当を持たせる。そこで, 次のような願いをもって今回の活動を行った。

○自身が弁当作りを行うことで, 栄養面に対する意識を高め, 自分の健康を自ら守っていかうと考えられるようにさせたい。

○食事には気持ちがこもっており, それによって自分が支えられているということを感じさせる。

○弁当づくりという共同作業を通して, 親子が共通の話題でコミュニケーションを深めることができるようにしたい。

夏休み中に作った弁当については, 夏休み明けに写真入りの報告書として提出させ, その中からPTA本部役員が工夫されている弁当を選び, 秋に行われた「町文化祭」に出品した。9月の体育大会には, 同じお弁当を子ども自身が作って登校し, 昼食時に子どもたち同士も交流する機会とした。

2. 「親子ふれあい部活動」

<取組の経緯>

神戸中学校では, 多くの部活動が熱心に活動していて, すばらしい成績も残している。保護者はそうした子どもたちの活動を陰で支える存在である。

そこで, 親子がいっしょに体を動かしたり, 親子で制作活動を行ったりして, 普段では味わえないコミュニケーションを図れるようにしたいと考えて活動を企画した。

各部の実情に合わせて, 一定の期間中に部ごとに保護者の代表と顧問とで計画し, 保護者の参加を募るといった形にした。休日の部活動の時間を利用し, できる限り多くの保護者が参加できるようにした。この取組はPTA広報委員会の活動と連携し, 活動の様子を広報委員が取材, PTA会報「神中魂」で紹介した。



写真1



写真2

【親子で作ろうお弁当の日報告書(町文化祭)】 【陸上部: 親子合同練習】

3. 「感謝の気持ちを伝える Thank you Week」

<取組の経緯>

生活の中で感謝をしても言葉に出せない, 相手にうまく伝えられない場面が多くある。1週間という短い期間であるが, 支えてくれている周りの仲間, 先輩, 家族に「ありがとう」を伝えてみることをねらいとした。期間中にいつ, だれに, どんな「ありがとう」を伝えられたかを記録した。さらに, 取り組み後に生徒や家族の感想についても記述をし, その内容をPTA会報「神中魂」で紹介した。

<保護者の感想より(お弁当づくり)>

・限られた時間の中で, 簡単に作れて栄養のバランスがとれたメニューを相談して具材を準備しました。カルビ焼き肉ご飯を上手に手際よく作り, 容器からこぼれないように注意して詰めることができました。片付けのお皿や鍋などたくさん拭いてくれて助かりました。体育大会に向けて追加メニューを提案してくれました。

・弁当のメニューを親子で考え, 材料を一緒に買いに行きました。彩りや栄養のバランスも考えて買い物をしている姿に驚きました。会話ができてとてもうれしく思いました。

<保護者の感想より(親子ふれあい部活動)>

・吹奏楽コンクールに向けて頑張っている姿が見られました。また, パート練習では一人一人の演奏の音色が以前よりもよくなっていることに驚きました。

・毎日の生活に追われている中で, 運動を通して徐々に子どもとふれ合うことができました。とても楽しい時間を過ごすことができました。また, 実施してください。

<生徒の感想より(Thank you Week)>

・毎日, 何となく過ごしていることが多いですが, 色々な人に支えられ, 助けてもらっていることを改めて感じることができました。

・1日の中でたくさんありがとうと伝える場面があることを知りました。それだけ, 自分のまわりに感謝することがあることだと思うので, 毎日感謝の気持ちを忘れずに過ごしたいと思います。